

市町村議会議員特別セミナー～地域防災力の強化に向けて～

平成29年度「市町村議会議員特別セミナー～地域防災力の強化に向けて～」を、10月23日、24日の2日間の日程で開催しました。台風の影響がありましたが、全国から48名の市町村議会議員の皆様にご参加いただきました。

初日は、まず、「巨大災害を知りこの美しい日本列島に生きる」と題して、名古屋大学大学院環境学研究科地震火山研究センター教授の山岡耕春先生から、日本列島に起こる自然災害のメカニズムと災害に対する心構えなどについてご講演いただきました。参加者からは、「地震メカニズムの詳しい説明で日本が災害とともにあることがわかりました。」「巨大災害が発生した場合の対応の方向性が見えてきました。」「絶対はないので準備をしておくべきではないと思いました。」「自然が豹変する巨大災害の現地の様子を知り一層の地域防災力が必要だと学びました。」などの感想をいただきました。

次に、『想定外』に立ち向かう地域を育てるためには」と題して、東京大学大学院情報学環特任教授・群馬大学名誉教授の片田敏孝先生から、近年の想定を超える災害の発生状況や最近の台風・豪雨被害の状況やそれらの災害に備える意識、住民が地域で一体となって災害に立ち向かうことのできる地域構築の必要性などについてご講演いただきました。参加者からは、「地震・津波のみならず豪雨災害の対応を考えさせられました。」「防災力は地域力であることを認識しました。」「祖父母から孫まで、教育・コミュニティの大事さを感じました。」「想定外を乗り越え生き抜く力を育む防災教育に感動しました。」などの感想をいただきました。

2日目は、まず、「熊本地震から学ぶ初動、その日常とは」と題して、熊本市議会議員の小池洋恵氏から、市議会議員・

市民・被災者という様々な立場から、実際に災害が起きた場合に何が起るか、何が必要なのかなどについて、実体験に基づくご講演をいただきました。参加者からは、「議員としての動き、行政との関係、地域住民への対応、外部からの侵入者への対応など被災地の当事者の生の声として聞けました。」「実体験からの話は説得力があり、防災と防犯について感同身しました。」「地域コミュニティを作り上げていくことを一歩でも進めていきたいと思いました。」「女性の視点からの話が聞け参考になりました。」などの感想をいただきました。

最後に、「議会・議員にできることは何か～災害から大切なふるさとを守るために～」と題して、パネルディスカッションを実施しました。コーディネーターに人と防災未来センター主任研究員の中林啓修氏、パネリストに熊本市議会議員の小池洋恵氏、陸前高田市議会議員長の伊藤明彦氏、大分市議会議員の今山裕之氏、南国市議会議員の高木正平氏をお迎えし、活発なディスカッションが行われました。参加者からは、「議員に必要な災害時の対応が勉強になりました。」「それぞれの地域の特性を生かした防災対策が参考になりました。」「組織としての行動、議員の行動力と個人の自覚の大切さを感じました。」「災害時に市民に寄り添う対応が必要だと自覚しました。」「災害の少ない地域だからこそ議会としての対応マニュアルが必要であるということが理解できました。」などの感想をいただきました。

セミナー全体については、「素晴らしい講師、内容でした。」「私たち議員としての行動を考えるための良い機会となりました。」「他自治体の議員との情報交換で学ぶことができました。」などの感想をいただきました。

巨大災害を知り この美しい日本列島に生きる

名古屋大学大学院
環境学研究科地震火山研究センター教授
山岡耕春先生



『想定外』に立ち向かう地域を 育てるためには

東京大学大学院情報学環特任教授・
群馬大学名誉教授
片田敏孝先生



熊本地震から学ぶ初動、 その日常とは

熊本市議会議員
小池洋恵氏



パネルディスカッション 議会・議員にできることは何か ～災害から大切なふるさとを守るために～

コーディネーター
人と防災未来センター主任研究員 中林啓修氏

パネリスト
熊本市議会議員 小池洋恵氏
陸前高田市議会議員長 伊藤明彦氏
大分市議会議員 今山裕之氏
南国市議会議員 高木正平氏

